



熊谷スマートシティにおける データ利活用の取組紹介

「熊谷市スマートシティ」について

2023年7月4日 市長が「スマートシティ宣言」を実施

目指すまちづくりの姿は

「やさしい未来発見都市 熊谷」

～デジタルと人の力で社会を前に進めていく～



人の力（市民参画）とデジタルの力（データ利活用）

により、まちの活性化及び地域の持続性を確保する



2023年7月4日
スマートシティシンポジウム

「熊谷市スマートシティ」で取り組む5つの分野

1



暑さに対応したまち

「公民連携」を重視しながら
多くの取組を展開中

5



産業DX



2



モビリティ

4



安心安全・インフラの
維持管理

3



スポーツ・健康

市民向けデジタルサービスの中心

LINEポータルアプリ「クマぶら」

登録者数6万人を超えました！

豊富なメニュー

- ・行政・イベント情報、クーポンの配信
- ・地域電子マネー「クマPAY」
- ・コミュニティポイント「クマポ」
- ・コミュニティバスのスマホ回数券
- ・マイナンバー公的個人認証による
図書館利用登録機能
- ・暑さ対策スマートパッケージ 等



市民向けデジタルサービスの中心

LINEポータルアプリ「クマぶら」

折角の機会ですので
クマぶら 6万人の登録状況について
BIツール「Tableau」を
使って説明します



市民向けデジタルサービスの中心

LINEポータルアプリ「クマぶら」

2023年（令和5年）

「データ連携基盤」の整備・運用を開始



「クマぶら」上の主要サービスの
利用データを、蓄積・活用する取組を開始した



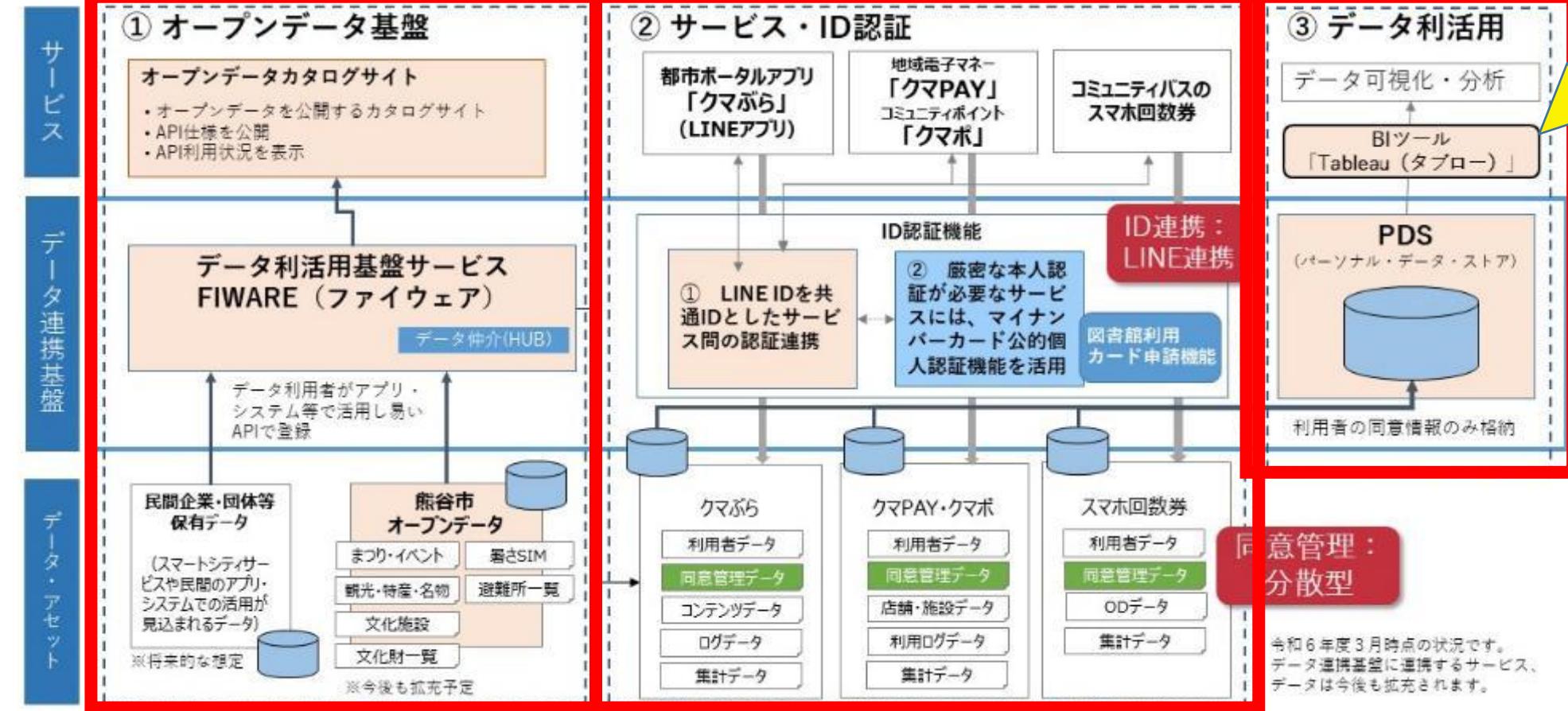
熊谷市のデータ連携基盤とデータ利活用の位置づけ



熊谷市データ連携基盤システム構成図

IDはクマぶらを入口にLINEと連携し活用、同意管理は各サービス毎に保持（分散型）

凡例
→ データの流れ



データ連携基盤から得られるサービス利用データの可視化・分析を、職員自ら内製化できるようになることが目標

Tableau (タブロー) の導入状況

2025年度は、11の課で運用中

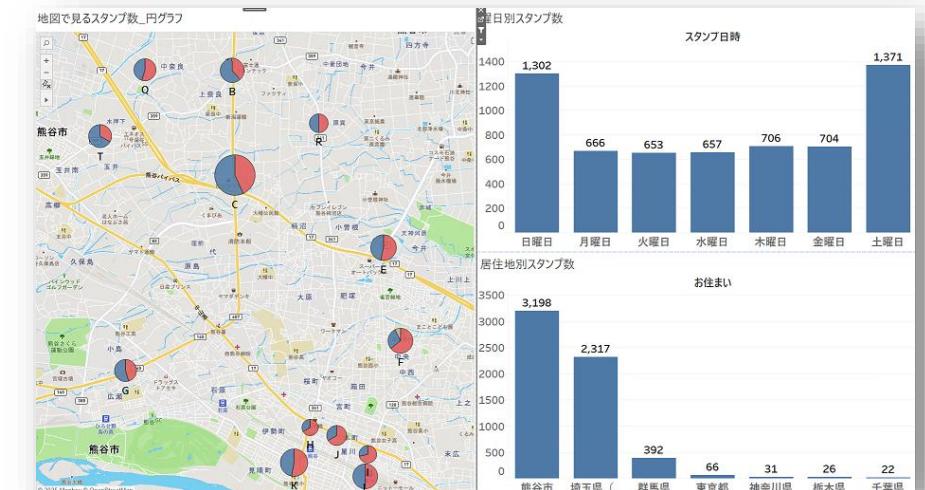


【導入している部門】

企画・財政、総務（人事、税）

スポーツ、市民部門、環境

商業観光・施設管理



各部署が保有するデータの可視化・分析に活用中

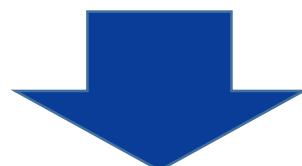
【庁内活性化に向けた取組】

Tableau Café（タブローカフェ）

Tableauは、全部署で活用可能な汎用スキル。もっと盛り上げるには、
職員が「気軽に相談できる場所」
が必要なのではないか？



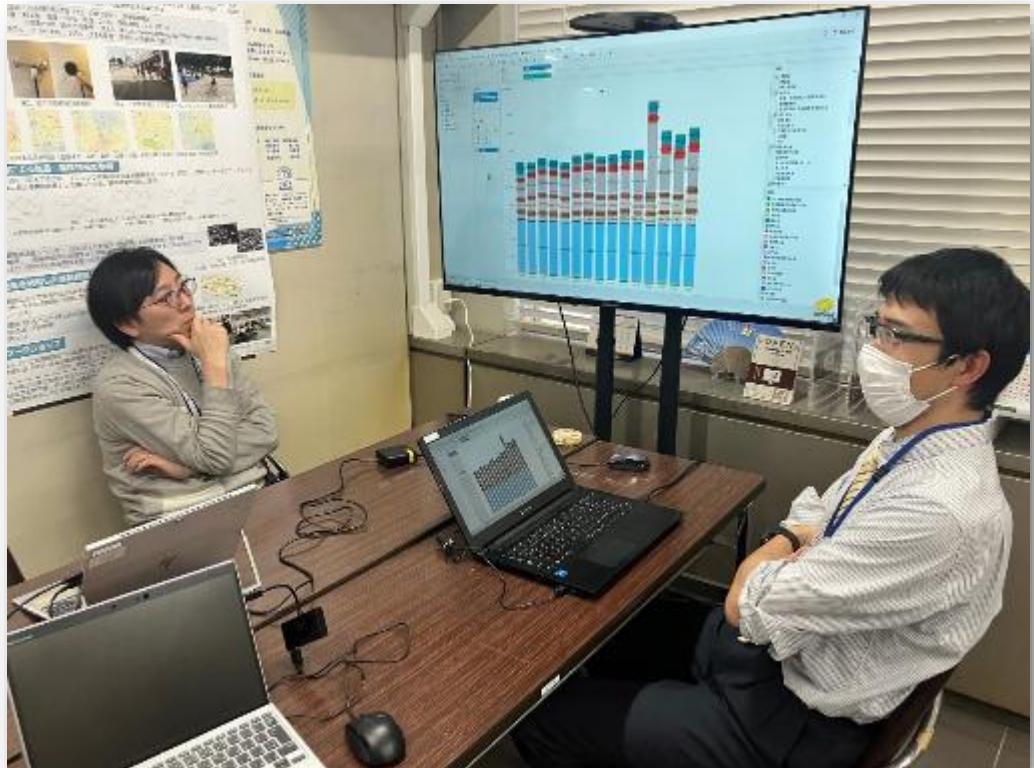
2024年4月



いつでも・誰でも・気軽に

カフェのように気楽に訪れられる相談窓口を庁内に設置

実際のタブローカフェの様子



データを囲んでいつも自由に語り合っています。
コーヒーも出ませんし、Café感はありませんが……

【庁内活性化に向けた取組】

Tableau 操作研修の実施



毎年度、外部の研修講師に依頼し、
Tableau導入部署の職員を対象とした
操作研修を実施。
**今年度は、本日のデータハッカソンでの
プレゼンを研修の成果発表に位置け。**

【公民連携・人材育成の取組】

データ活用に関する地域の学校との連携

アルスコンピュータ専門学校 様との連携

「スマートシティ連携データ等に関する連携協定書」を締結

立正大学 様との連携

データサイエンス学部教授を市のチーフアーキテクトに招聘

【公民連携・人材育成の取組】

熊谷コミュニティラボ

WEBコミュニケーションツール
「**Slack (スラック)**」を活用し、
誰でも自由に参加でき、WEB上で
職員や他の参加者と語り合える場を提供。
データドリブンをテーマにしたチャネルも設けている。

皆様もぜひご参加ください！！

詳しくは、熊谷市ホームページへ



Community Lab Conceptual Visual



実際のCommunity Labのイメージ

【公民連携・人材育成の取組】

地元高校生によるG I S活用ワークショップの開催

地元県立高校の高校生と連携し、

3D都市モデルデータやG I Sを活用して、

地域課題の解決策を研究するワークショップ

を毎年度開催している。



若い世代に、地元に関するデータの利活用を通して、
地域課題の解決能力を育成する機会を提供

まとめ（課題認識や今後について）

- 現在のところ、Tableauは庁内での意思決定等に活用することが中心で、市民等への公開は行っていない。今後は、先進事例を参考に、可視化した成果を公開する手法も研究していきたい。
- 職員のTableau活用スキルの維持・向上のためには、Tableau caféの活性化を始め、担当職員の人事異動リスクへの備えてについても検討が必要。
- 民間保有データ活用の幅を広げるとともに、オープンデータの充実や地域を巻き込んだ活用方法についても検討したい。

まとめ（課題認識や今後について）

本シンポジウムで得られる知見を参考にしながら
今後も公民連携の輪を一層広め、
データドリブンな地域を築いていけるよう
これからも頑張ってまいります！



ご清聴ありがとうございました

